

第 196 回 企業経営動向調査

調査要領

- (1) 調査対象企業社数 466 社 (回答企業社数 433 社、回答率 92.9%)
- (2) 調査時点 令和 6 年 3 月上旬～4 月上旬
- (3) 調査対象期間 実績：令和 6 年 1-3 月期
見通し：令和 6 年 4-6 月期

(注) 本文中にある「D. I. 値」は「Diffusion Index」の略で、企業の業況判断等を指標化したものである。算式は有効回答企業社数の合計を 100%として「良い」「増加」「上昇」などとする企業の割合 (%) から、「悪い」「減少」「下落」などとする企業の割合 (%) を差し引いた数値である。

概況

1. 令和 6 年 1-3 月期の「全産業」の業況判断 D.I. (「良い」-「悪い」) は、+11 と前回調査+19 から 8 ポイント低下した。令和 6 年 4-6 月期の見通しは、+20 となっている。

2. 業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、+2 と前回調査+14 から 12 ポイント低下した。令和 6 年 4-6 月期の見通しは、+18 となっている。

「非製造業」の業況判断 D.I.は、+20 と前回調査+23 から 3 ポイント低下した。令和 6 年 4-6 月期の見通しは、+21 となっている。

(表 1、図 1)

3. 各種判断項目では、「売上・受注・生産」D.I.は、+1 と前回調査+17 から「増加した」超幅が 16 ポイント縮小した。令和 6 年 4-6 月期の見通しは、+15 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。

「販売価格」D.I.は、+28 と前回調査+32 から「上昇した」超幅が 4 ポイント縮小し、「仕入価格」D.I.は、+51 と前回調査+56 から「上昇した」超幅が 5 ポイント縮小した。その結果、「採算」D. I.は、▲17 と前回調査▲11 から「悪化した」超幅が 6 ポイント拡大した。

1 業況判断

(1) 群馬地区

・調査対象企業社数 258 社 (回答企業社数 238 社、回答率 92.2%)

- ① 令和6年1-3月期の「全産業」業況判断 D.I. (「良い」 - 「悪い」) は、+12 と前回調査+20 から 8 ポイント低下した。令和6年4-6月期の見通しは、+22 となっている。
- ② 業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、+4 と前回調査+21 から 17 ポイント低下した。「非製造業」の業況判断 D.I.は、+21 と前回調査+19 から 2 ポイント上昇した。製造業では、輸送用機械が一部メーカーの生産停止の影響等で大きく低下した。非製造業では、すべての業種がプラスを維持し業況の持ち直しの動きが続いている。

具体的に見ると、「製造業」では、食料品+4、金属製品+16、一般機械+20、その他製造+6 がプラスとなり、輸送用機械▲26 がマイナスとなった。「非製造業」は、建設+3、卸売+22、小売+38、サービス+20 がプラスとなった。令和6年4-6月期の業況判断見通し D.I.は、「製造業」は+25、「非製造業」は+20 となっている。

(表 2、図 2)

(2) 埼玉地区

・調査対象企業社数 181 社 (回答企業社数 170 社、回答率 93.9%)

- ① 令和6年1-3月期の「全産業」の業況判断 D.I. (「良い」 - 「悪い」) は、+9 と前回調査+15 から 6 ポイント低下した。令和6年4-6月期の見通しは、+16 となっている。
- ② 業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、+1 と前回調査+3 から 2 ポイント低下した。「非製造業」の業況判断 D.I.は、+15 と前回調査+26 から 11 ポイント低下した。製造業では、輸送用機械が一部メーカーの生産停止や中国事業の停滞等の影響から大きく低下した。非製造業では、全般的にプラス幅の縮小が見られるが、すべての業種がプラスを維持し業況の持ち直しの動きが続いている。

具体的に見ると、「製造業」では、金属製品が±0、一般機械+10、その他製造+9 がプラスとなり、輸送用機械▲27 がマイナスとなった。「非製造業」は、建設+30、卸売+6、小売+7、サービス+12 がプラスとなった。

令和6年4-6月期の業況判断見通し D.I.は、「製造業」は+13、「非製造業」は+17 となっている。

(表 3、図 3)

2 売上・受注・生産

令和6年1-3月期の「全産業」の売上・受注・生産 D.I.（「増加した」-「減少した」）は、+1 と前回調査+17 から「増加した」超幅が 16 ポイント縮小した。業種別では「製造業」は▲12 と前回調査+17 から「減少した」超に転じ、「非製造業」は+13 と前回調査+16 から「増加した」超幅が 3 ポイント縮小した。

令和6年4-6月期の「全産業」の売上・受注・生産見通し D.I.は、+15 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。（図4）

3 資金繰り

令和6年1-3月期の「全産業」の資金繰り D.I.（「良化した」-「悪化した」）は▲6 と前回調査と同様の結果となった。業種別では、「製造業」は▲12 と前回調査▲5 から「悪化した」超幅が 7 ポイント拡大し、「非製造業」は+1 と前回調査▲7 から「良化した」超に転じた。

令和6年4-6月期の「全産業」の資金繰り見通し D.I.は、▲1 と「悪化する」超で推移する見通しとなっている。（図5）

4 販売価格

令和6年1-3月期の「全産業」の販売価格 D.I.（「上昇した」-「低下した」）は、+28 と前回調査+32 から「上昇した」超幅が 4 ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は+26 と前回調査+31 から「上昇した」超幅が 5 ポイント縮小し、「非製造業」は+31 と前回調査+33 から「上昇した」超幅が 2 ポイント縮小した。

令和6年4-6月期の「全産業」の販売価格見通し D.I.は、+25 と「上昇する」超で推移する見通しとなっている。（図6）

5 仕入価格

令和6年1-3月期の「全産業」の仕入価格 D.I.（「上昇した」-「下落した」）は、+51 と前回調査+56 から「上昇した」超幅が 5 ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は+48 と前回調査+55 から「上昇した」超幅が 7 ポイント縮小し、「非製造業」は+54 と前回調査+57 から「上昇した」超幅が 3 ポイント縮小した。

令和6年4-6月期の「全産業」の仕入価格見通し D.I.は+43 と「上昇する」超で推移する見通しとなっている。（図7）

6 採算

令和6年1-3月期の「全産業」の採算 D.I.（「良化した」-「悪化した」）は、▲17 と前回調査▲11 から「悪化した」超幅が 6 ポイント拡大した。業種別では、「製造業」は▲19 と前回調査▲9 から「悪化した」超幅が 10 ポイント拡大し、「非製造業」は▲14 と前回調査▲15 から「悪化した」超幅が 1 ポイント縮小した。

令和6年4-6月期の「全産業」の採算見通し D.I.は、▲10 と「悪化する」超で推移する見通しとなっている。（図8）

7 在 庫・在庫水準

令和6年1-3月期の「全産業」の在庫 D.I.（「増加した」-「減少した」）は、+4 と前回調査と同様の結果となった。令和6年4-6月期の「全産業」の在庫見通し D.I.は、+2 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。（図9）

令和6年1-3月期の「全産業」の在庫水準 D.I.（「過剰」-「不足」）は、+7 と前回調査+5 から2ポイント上昇した。令和6年4-6月期の「全産業」の在庫水準見通し D.I.は、+3 となっている。（図12）

8 雇用人員

令和6年1-3月期の「全産業」の雇用人員 D.I.（「過剰」-「不足」）は、▲27 と前回調査▲34 から7ポイント上昇した。業種別では、「製造業」は▲21 と前回調査▲29 から8ポイント上昇し、「非製造業」は▲35 と前回調査▲39 から4ポイント上昇した。

令和6年4-6月期の「全産業」の雇用人員見通し D.I.は、▲29 となっている。（図10）

9 生産・営業用設備

令和6年1-3月期の「全産業」の生産・営業用設備 D.I.（「過剰」-「不足」）は、▲7 と前回調査▲8 から1ポイント上昇した。業種別では、「製造業」は▲7 と前回調査▲10 から3ポイント上昇し、「非製造業」は▲6 と前回調査▲7 から1ポイント上昇した。

令和6年4-6月期の「全産業」の生産・営業用設備見通し D.I.は、▲8 となっている。（図11）

10 当面の経営上の課題

「製造業」における当面の経営上の課題について、対象企業の59.6%が回答した「原材料高」がトップとなった。2位は「売上・受注不振」で34.4%となり、3位は「人件費高騰」で28.0%となった。

「非製造業」では、対象企業の45.1%が回答した「求人難」がトップとなった。2位は「原材料高」で44.2%となり、3位は「人材育成」で32.6%となった。

非製造業では「求人難」を課題とする企業の割合の増加が続いている。一方で製造業では「求人難」よりも「人件費高騰」を課題とする企業の割合の増加が顕著となっている。（図13,14）

表1 業況判断

全体	5年				6年	
	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し
食料品	▲ 14	18	25	11	17	32
金属製品	▲ 29	▲ 14	5	5	7	27
一般機械	▲ 7	▲ 11	▲ 7	20	19	23
電気機械	40	30	10	30	▲ 10	10
輸送用機械	▲ 29	▲ 11	7	26	▲ 23	11
その他製造	5	10	▲ 5	3	3	12
製造業計	▲ 9	0	4	14	2	18
建設	21	19	24	25	16	19
不動産	34	34	33	20	20	40
卸売	12	25	28	29	22	25
小売	11	14	15	16	28	20
サービス	15	17	32	25	17	21
非製造業計	16	19	25	23	20	21
全産業計	5	9	15	19	11	20

図1 業況判断

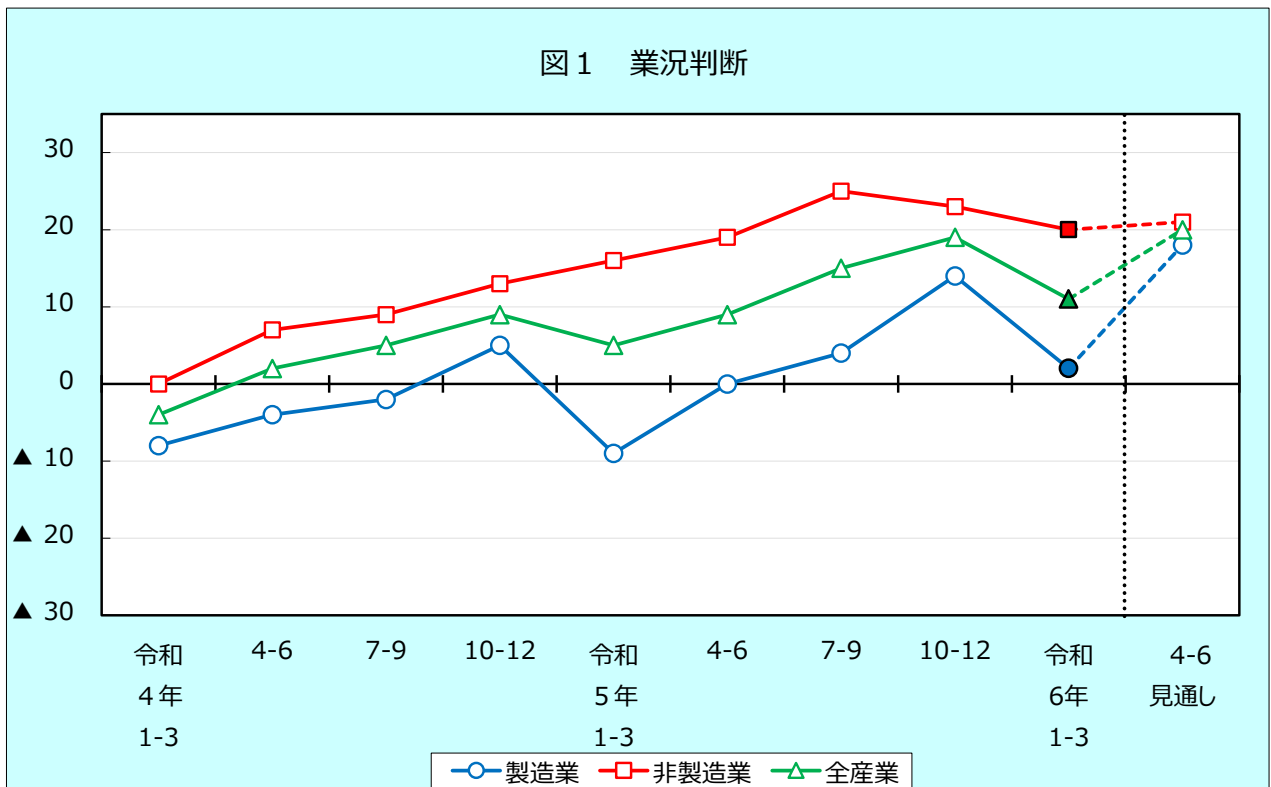


表2 業況判断

群馬県	5年				6年	
	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し
食料品	▲ 22	27	17	4	4	25
金属製品	▲ 40	▲ 19	▲ 5	8	16	34
一般機械	▲ 20	7	0	28	20	33
輸送用機械	▲ 38	▲ 9	9	47	▲ 26	13
その他製造	▲ 6	18	0	9	6	17
製造業計	▲ 20	3	5	21	4	25
建設	10	13	20	10	3	9
卸売	10	25	35	21	22	28
小売	10	11	19	17	38	29
サービス	15	18	47	27	20	16
非製造業計	13	15	29	19	21	20
全産業計	▲ 4	9	18	20	12	22

図2 群馬県・業況判断

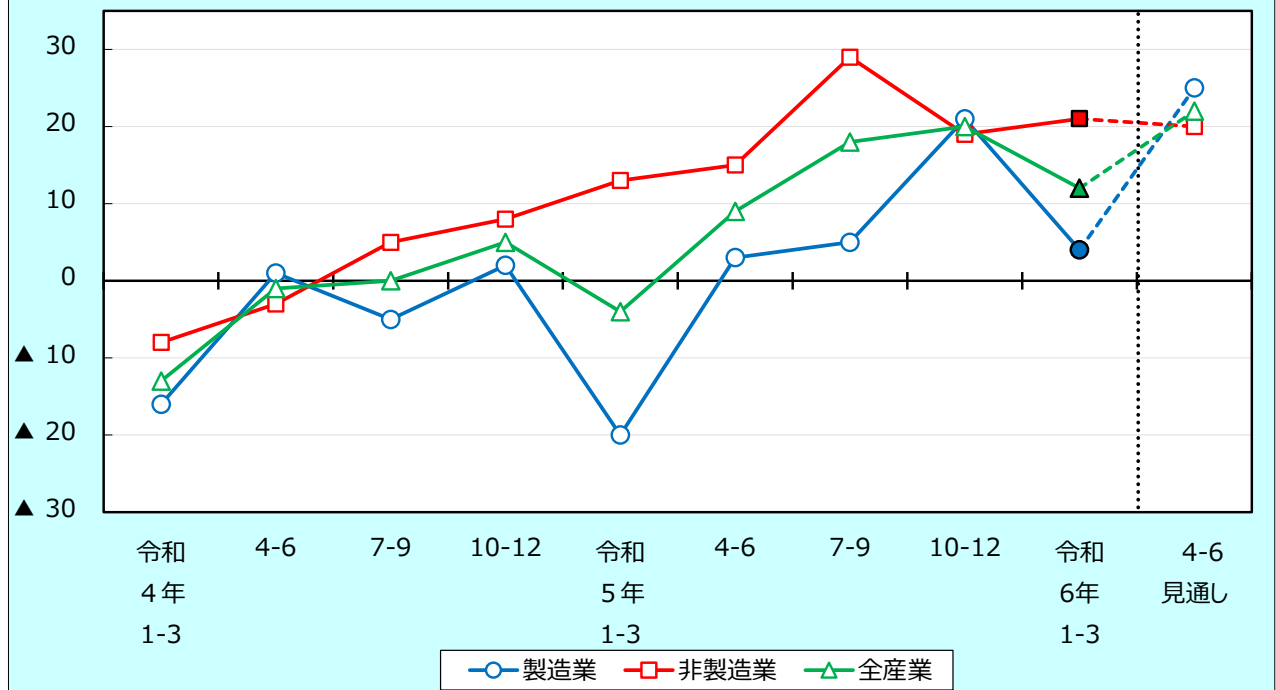


表3 業況判断

埼玉県	5年				6年	
	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し
金属製品	▲ 10	▲ 14	14	▲ 16	0	14
一般機械	0	▲ 40	▲ 22	11	10	10
輸送用機械	▲ 28	▲ 22	▲ 6	▲ 6	▲ 27	5
その他製造	9	10	▲ 5	5	9	18
製造業計	3	▲ 7	4	3	1	13
建設	31	21	30	36	30	26
卸売	11	24	12	31	6	6
小売	15	21	7	14	7	0
サービス	17	17	13	21	12	20
非製造業計	21	21	19	26	15	16
全産業計	12	8	12	15	9	16

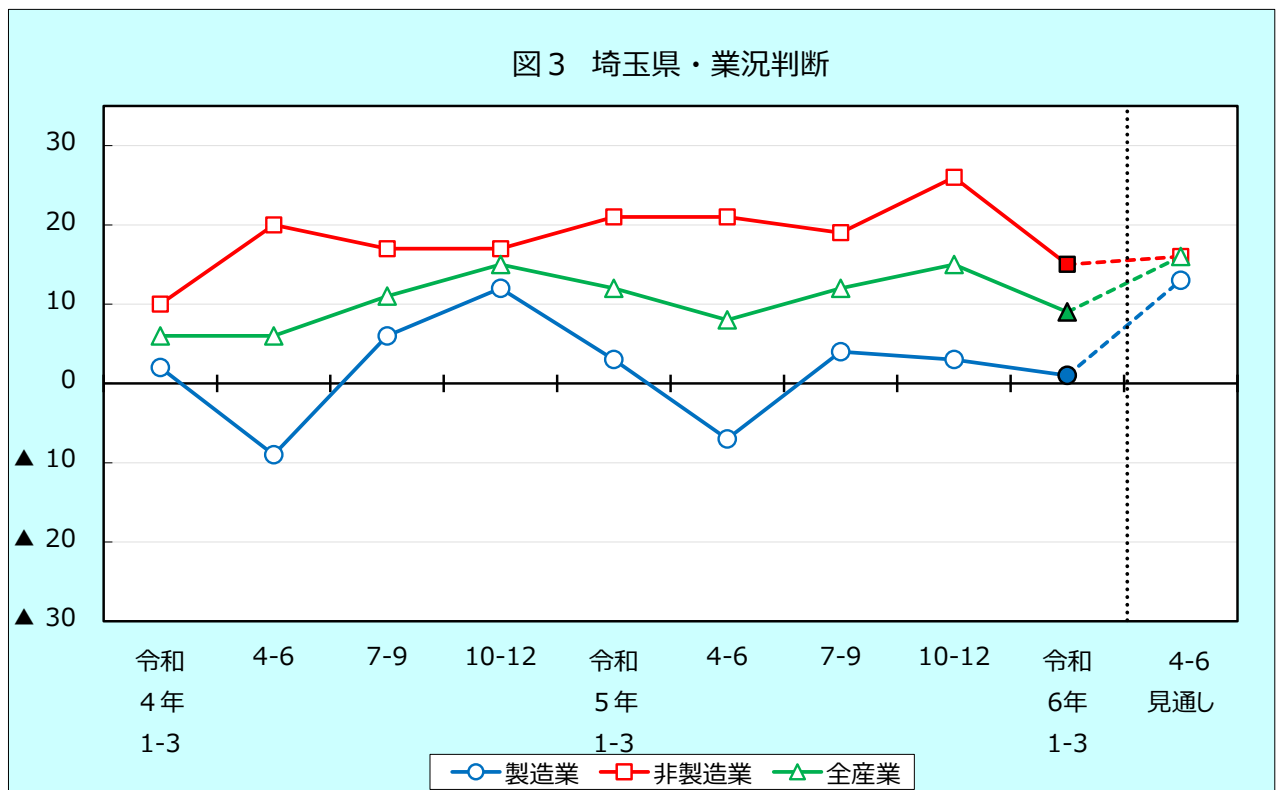


図 4

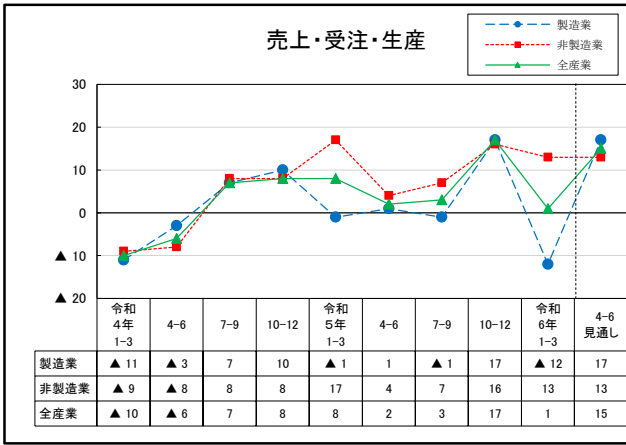


図 5

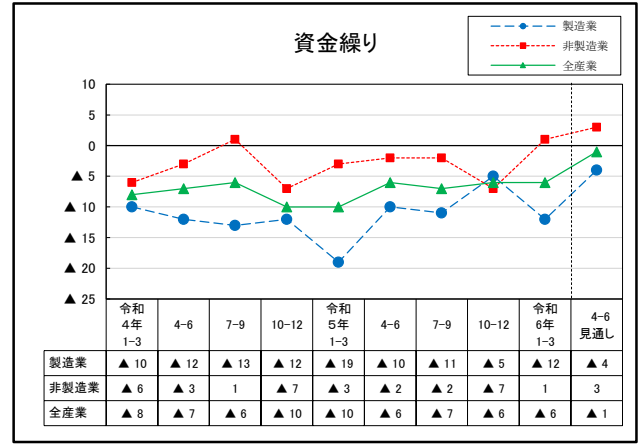


図 6

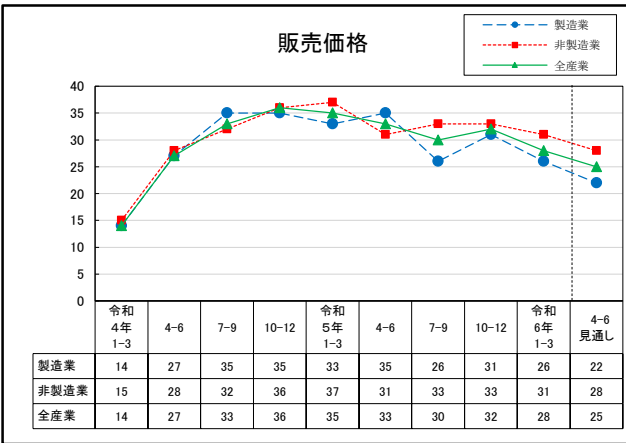


図 7

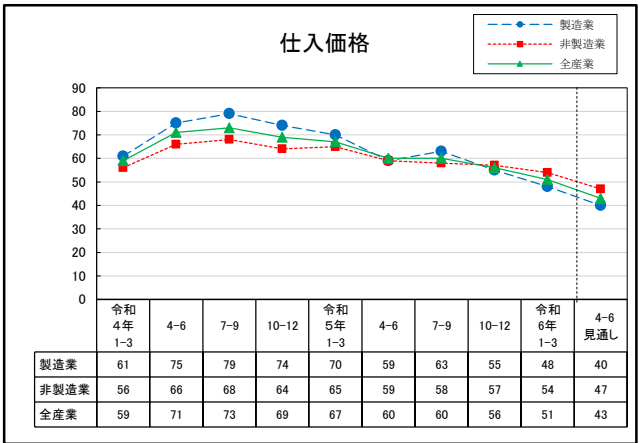


図 8

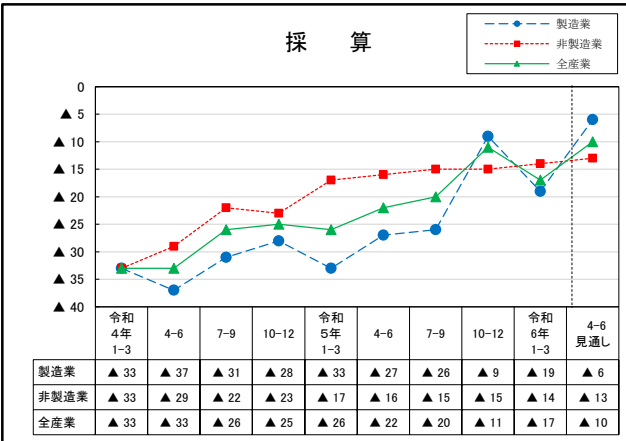


図 9

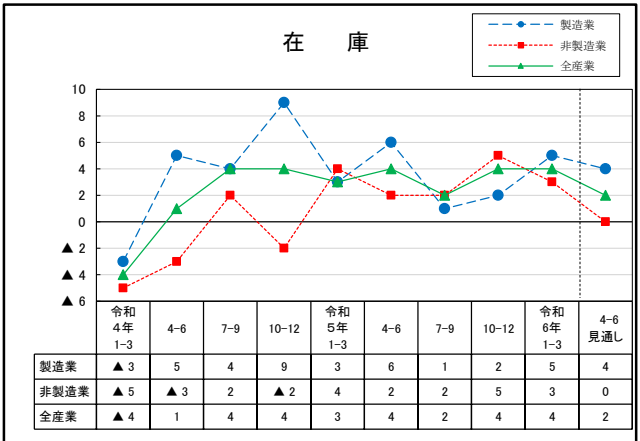


図 10

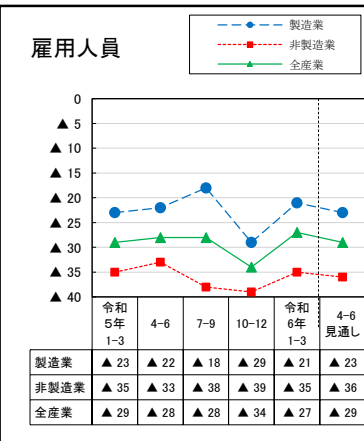


図 11

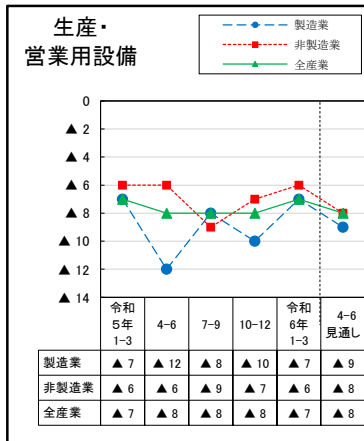
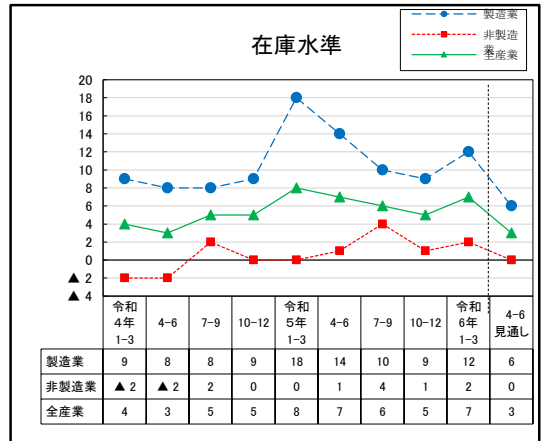
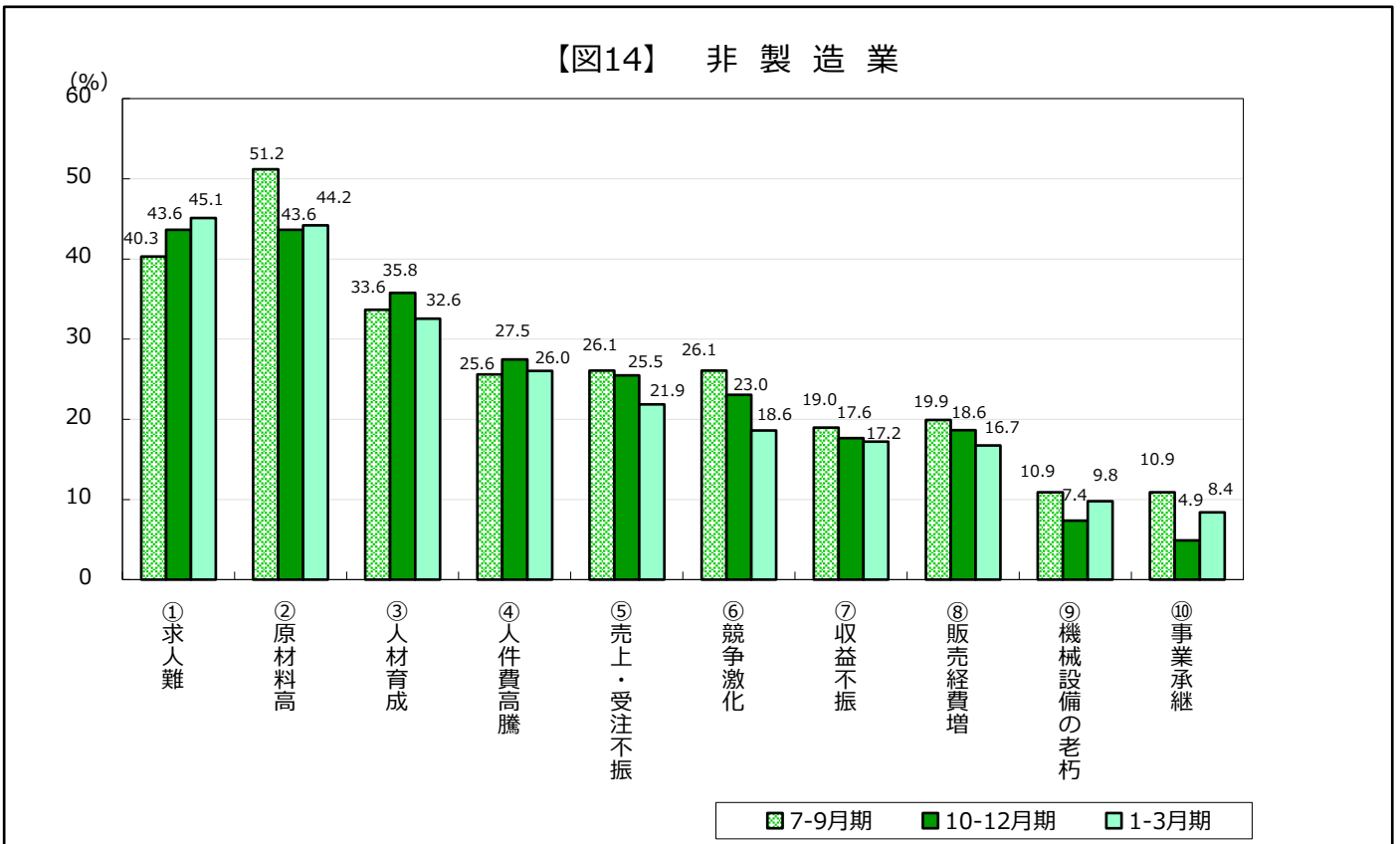
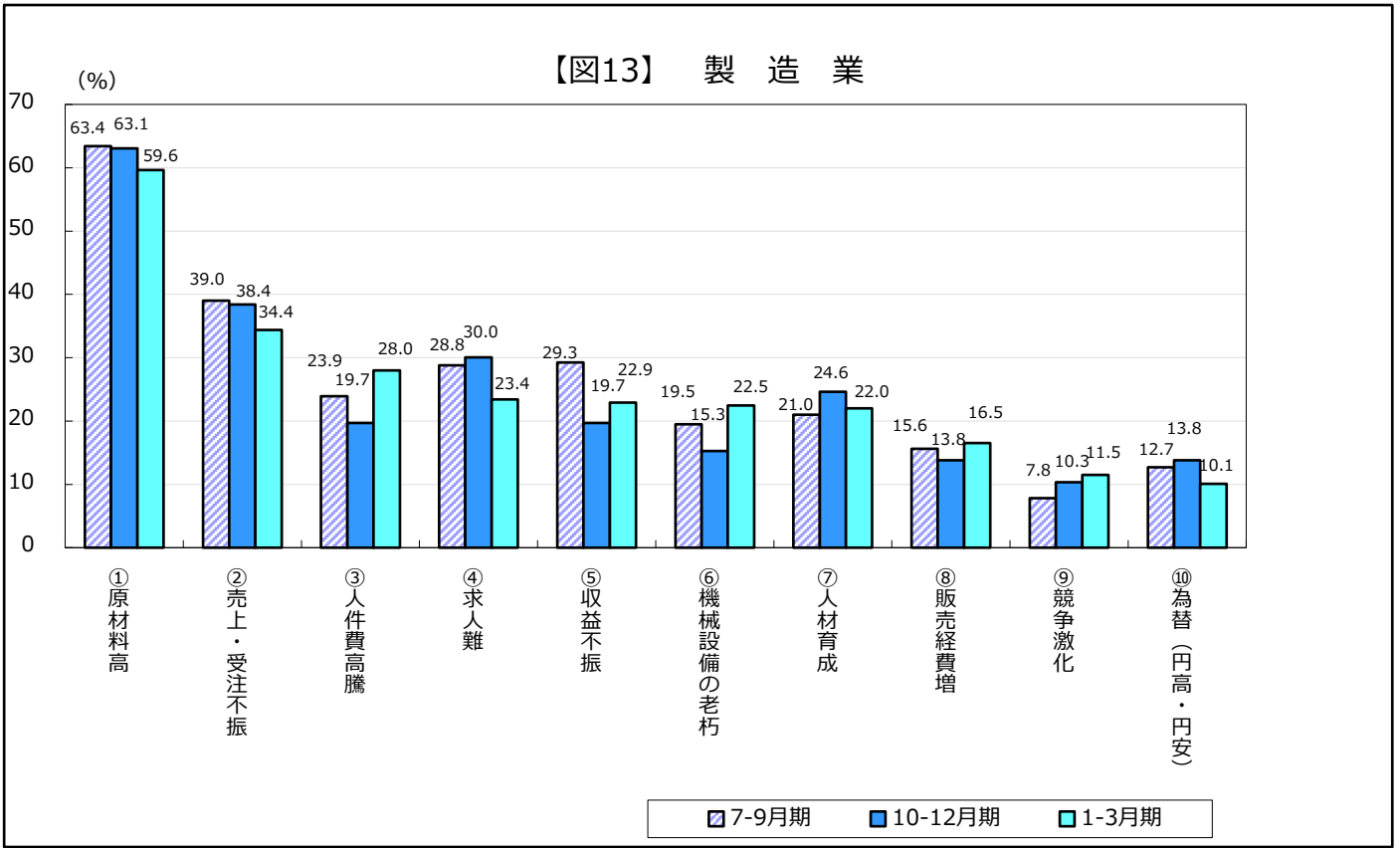


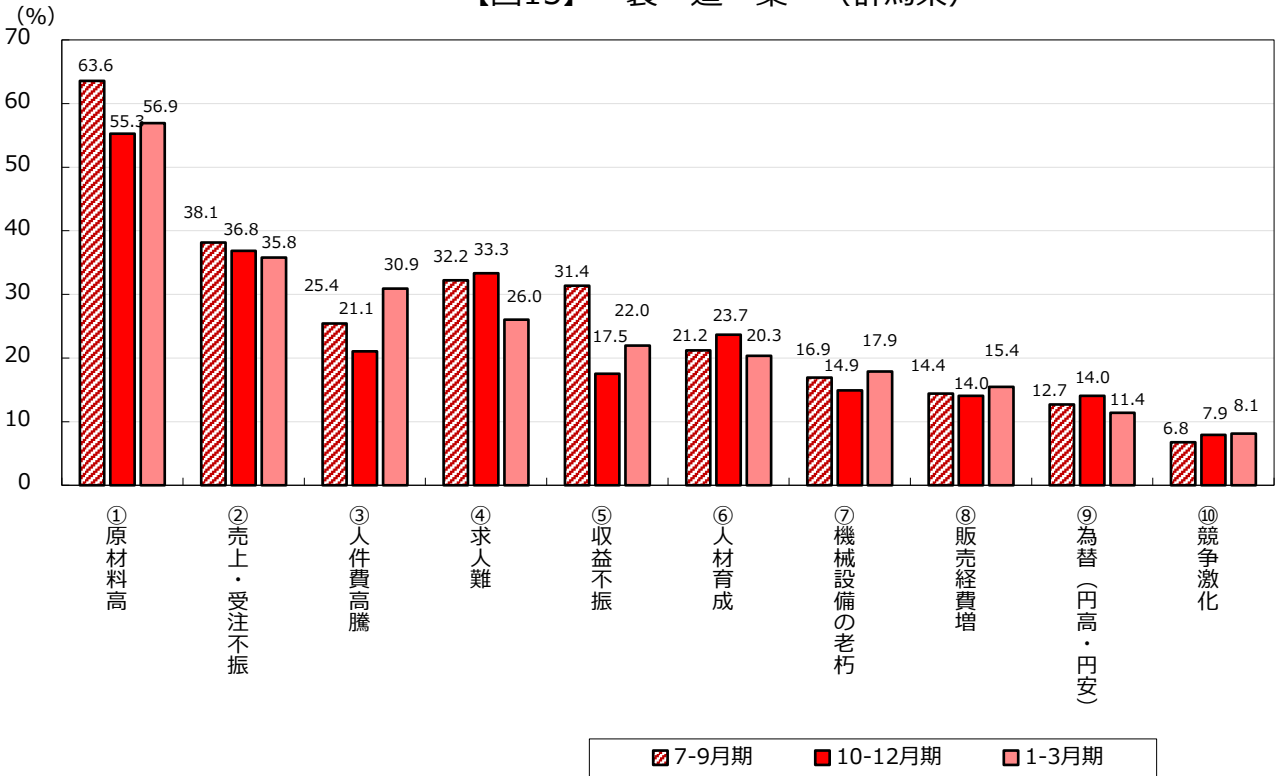
図 12



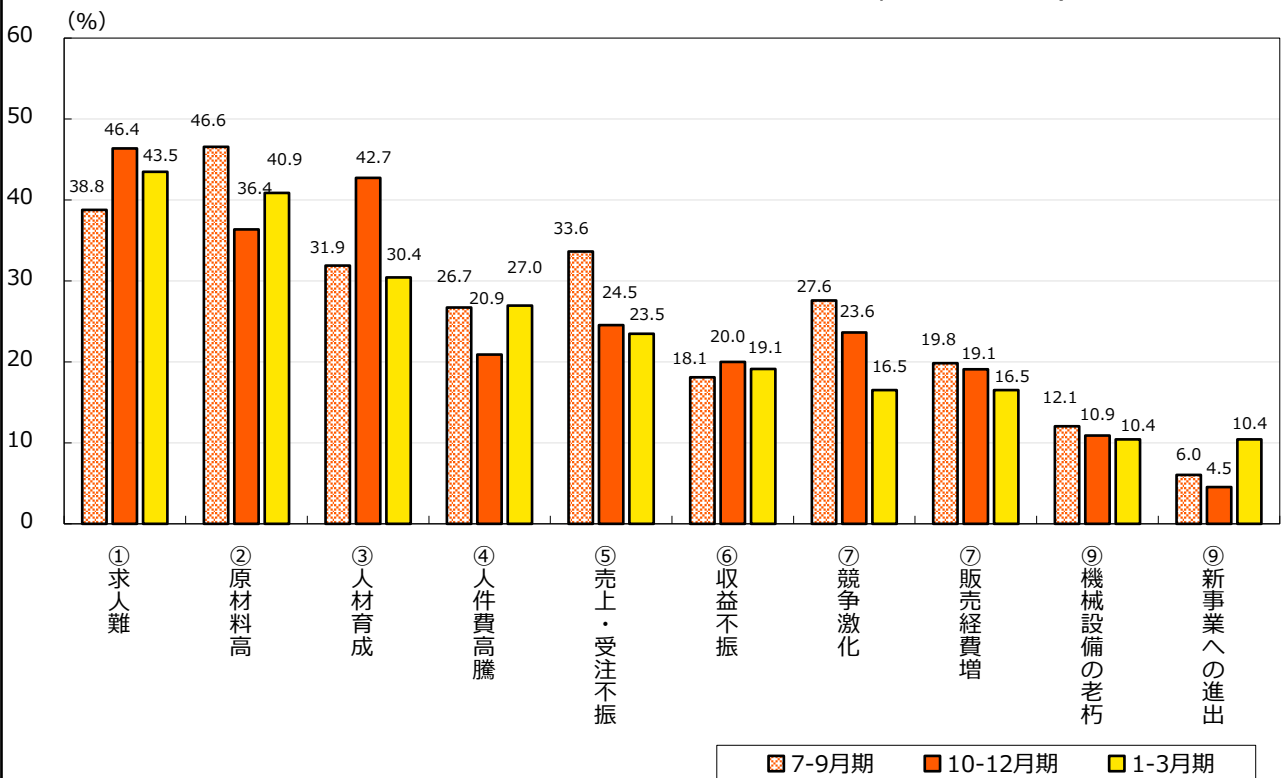


第196回企業経営動向調査 当面の経営上の課題（群馬県）

【図15】 製造業（群馬県）

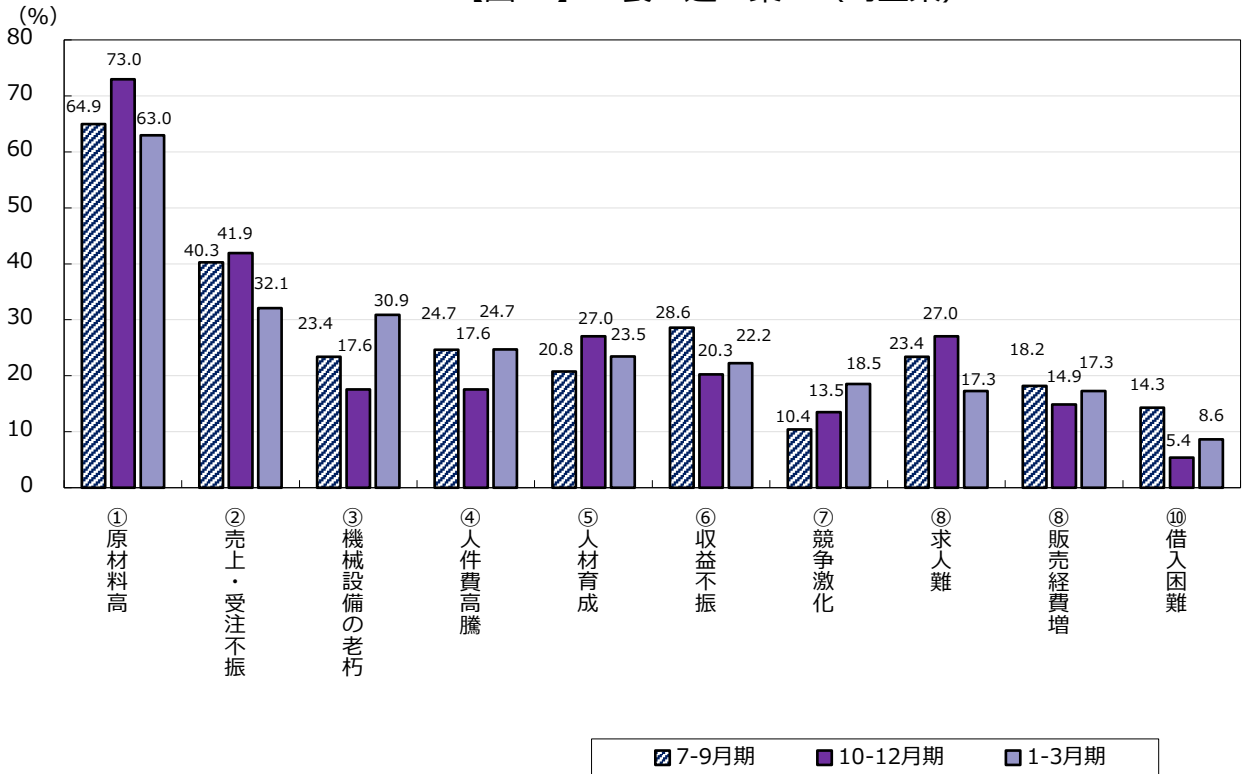


【図16】 非製造業（群馬県）



第196回企業経営動向調査 当面の経営上の課題（埼玉県）

【図17】 製造業（埼玉県）



【図18】 非製造業（埼玉県）

